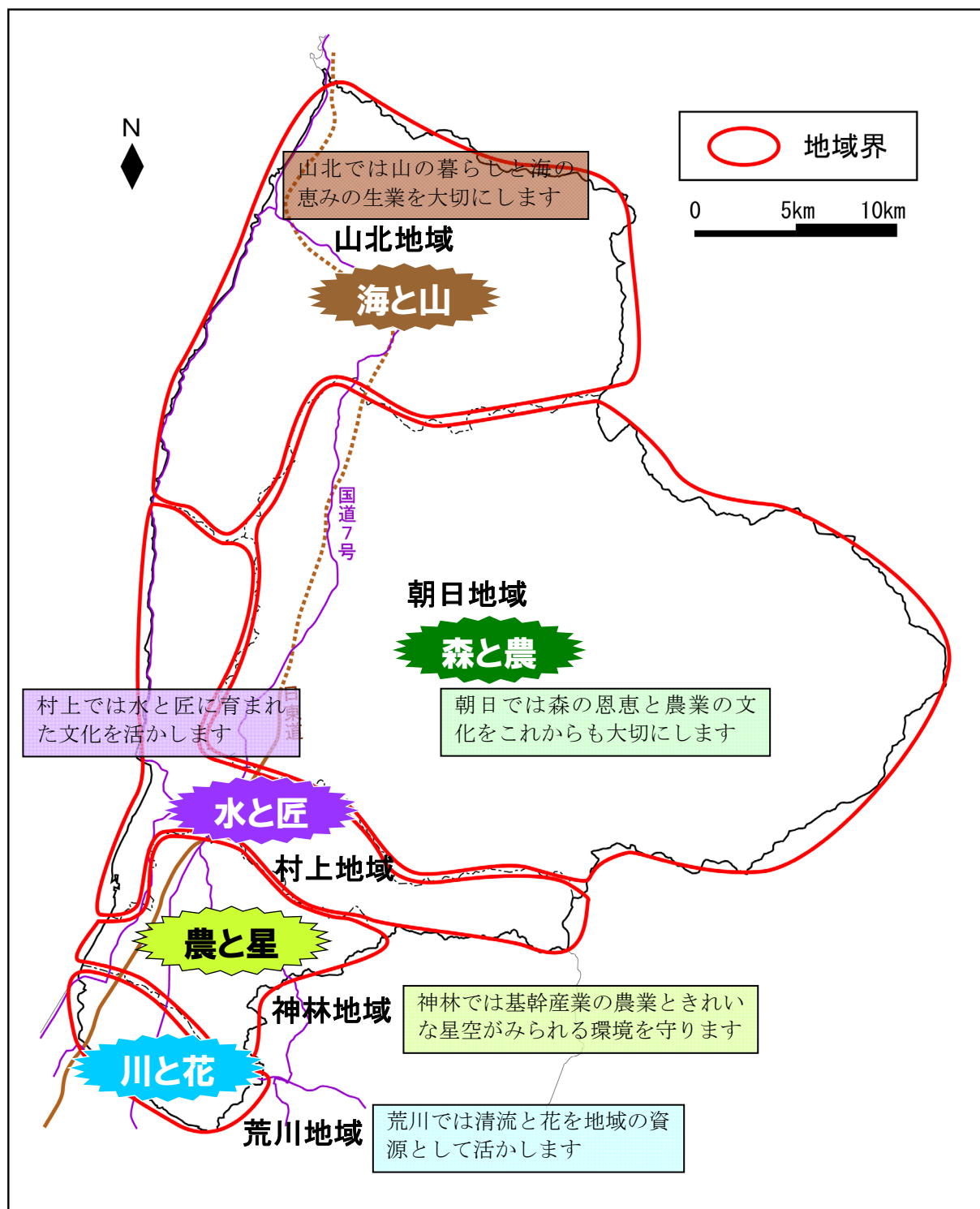


## ■地域区分の設定

村上市都市計画マスタープランでは、市域を5地域に区分し、それぞれの地域の将来目標と整備方針を示します。

なお、各地域別に漢字二文字で、地域の個性を表現しました。これら地域を特徴づけるキーワードをそれぞれのシンボルとして、地域づくりを進めます。



地域区分図

# 1. 村上地域

# 水と匠

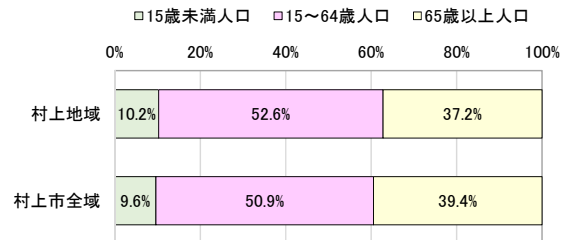
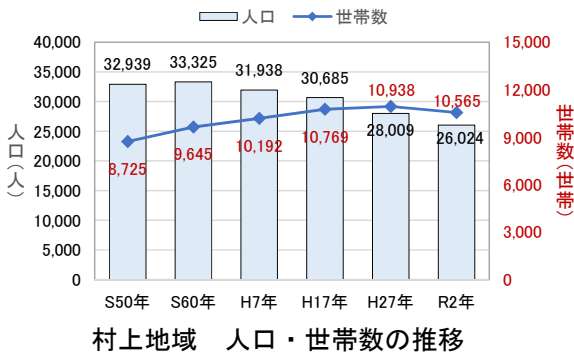


【村上地域の位置】



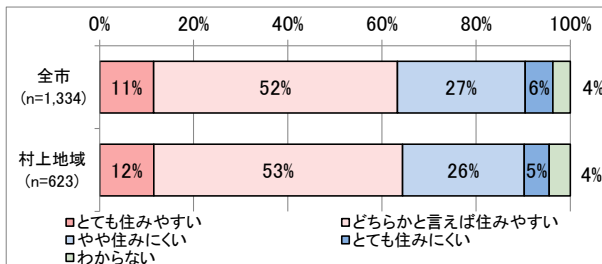
## 【地域の現状】

- ・村上市中央部、旧村上市の区域
- ・山林地が約 85%、農地が約 10%、宅地が約 4%
- ・人口は昭和 60 年以降減少、世帯数は平成 27 年以降減少
- ・65 歳以上高齢者比率は 37.2% で市平均より低い

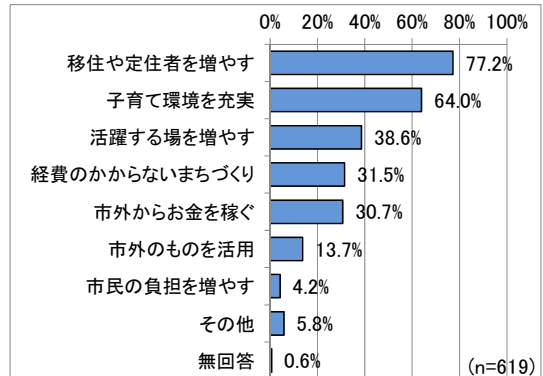


## 【総合計画アンケート結果】

・村上市は住みやすいか (村上地域)



・村上市の今後のまちづくり



## 村上地域の課題

### 【村上市の中心としての魅力の向上】

- ①中心市街地における都市機能強化と活力の向上
- ②町屋の人形さま巡りなど地域イベントの発展支援とさらなる知名度の向上
- ③郊外への無秩序な開発の抑制と市街地内未利用地の有効利用

### 【高速道路開通を活かした交流人口の拡大】

- ④城下町・温泉・岩船港など県北を代表する資源の魅力向上と相互連携
- ⑤日東道開通を活かした受け入れ環境整備と魅力の向上
- ⑥農山漁村地域における交流拡大と地域の持続

### 【若者定着と高齢者にもやさしい生活環境整備】

- ⑦若者定着のための教育環境や魅力ある就業の場の確保
- ⑧海・山・川の自然環境の保全活用
- ⑨高齢者も含めて安心して暮らせるための生活基盤や公共交通などの整備

## 村上地域の将来目標

### ■ 「水」と「匠」の文化

村上地域はこれまで、鮭・清酒・茶などの「水」の文化によって生まれ、また堆朱・村上大工の技術など「匠」の文化により発展してきました。これからも「水と匠」を活かした地域づくりを進めていきます。

#### 1 村上市の中核的都市機能を担うまち

村上市の中心として、行政・医療・商業・文化・娯楽などの都市機能が充実し、全市域から多くの人が集まり、快適に都市サービスを受けられる魅力ある中心拠点の形成を目指します。また、豊かな自然との調和を図りつつ、秩序ある効率的な土地利用を誘導し、活力とうるおいの共存する地域を目指します。

#### 2 城下町・瀬波温泉など地域の宝を活かした交流のまち

城下町と鮭の文化や風情が残る村上市街地をはじめ、瀬波温泉・岩船港・笹川流れ・伝統行事など地域固有の財産をさらに磨き上げるとともに、町屋の人形さま巡りなど市民主体の取り組みを発展させます。そして互いにつなげることで、外部からもさらに多くの人を訪れる、魅力の高い活力ある交流のまちを目指します。

#### 3 誇れるふるさと村上で安心して暮らし続けられるまち

地域の若者や都会へ出た村上出身の人たちが住み続けたく、また戻って来たいような魅力ある生活環境づくり（職・住・遊など）を目指すとともに、子どもや高齢者も安心して快適に暮らせるための生活環境（防災・防犯・医療・福祉・交通など）の整備を目指します。

# 村上地域の整備方針

## 1 「村上市の中核的都市機能を担うまち」の方針

### 【中央拠点地域の形成】

- 本市の中心的位置にある村上地域の市街地圏域を「中央拠点地域」とし、サービス施設の集積や形成により市民の生活に即した土地利用を進めるとともに、機能別拠点や周辺集落とのネットワーク強化を図ります。

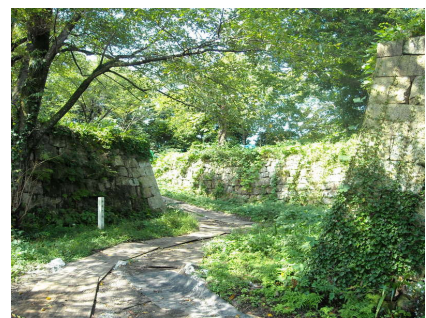
### 【市街地内の整備】

- 臥牛山東側の国道7号沿道地区は広域的商業や沿道業務機能、また新たな雇用の場を創出する企業誘致などのための利便増進と、臥牛山の景観との調和にも配慮しながら活力ある交流拠点としての形成を目指します。
- 商業系や住居系の土地利用が進展してきている田端町・山居町周辺は、日東道ICアクセス道路周辺という立地条件を視野に入れながら、これにふさわしい施設の誘導を図ります。
- 商業機能と住宅地の一体的な整備が進んでいるJR村上駅西側については、医療機能が隣接する駅に近い便利な住宅地として位置づけ、東西連絡通路の整備とともに、都市の魅力づくりを図ります。



### 【市街地を取り囲む自然環境の保全】

- 臥牛山は、市街地に隣接する貴重な緑地資源であり、国指定文化財でもあることから、保全と有効な活用により後世へ継承していくとともに、市民の身近な健康づくりの場や市街地を一望できる地域のシンボルとしての整備を目指します。
- 市街地近傍の山林地については、土砂災害の防止やCO<sub>2</sub>吸収などの多面的公益機能の確保とともに、緑豊かな市街地の背景を形づくる景観要素としての保全を図ります。
- 三面川、石川などの河川敷は、美しい水辺空間と背後の景観を活かして、安らぎのある緑地空間の整備を目指します。
- 市街地を取り囲む広大な農地については、安全で良質な米や野菜の供給基地として、またうるおいある景観形成地として、生物多様性の確保にも配慮しながら、保全とその機能維持を図ります。



### 【中心市街地の活性化】

- まちなかの空き店舗や空き家情報を積極的に提供し、コミュニティビジネスなど新規起業や都心居住の受け皿として、有効活用を目指します。
- まちなかの空き地・空き家などを活用して地域住民や来訪者が休憩できるような空間の整備を目指します。
- 郊外の大型店にはない中心市街地独自の集客のための取り組みを検討し、人同士の温かな対話があって、歩いて楽しめるような環境づくりを目指します。



### 【市街地周辺の交通の整備】

- 国道7号は、沿道商業地を利用する買い物客の利便性・快適性を高め、さらに通勤などの通過交通を円滑にするための整備改善を目指します。
- 村上市街地への通過交通の進入を防止するとともに、来訪者の笹川流れ方面へのアクセスを改善するため、都市計画道路環状3号線の瀬波温泉トンネル～瀬波小学校間の整備を目指します。

## 2 「城下町・瀬波温泉など地域の宝を活かした交流のまち」の方針

### 【城下町村上の整備】

- 城下町の名残として、全国的にも珍しい城跡・武家屋敷・町屋・寺町の4点セットが残っていることから、技術・生業・暮らしなどの文化と一体的に魅力がある城下町づくりを目指します。
- 旧武家町地区は、住宅の外観の保全や生け垣の設置などにより、緑豊かな住宅地として整備充実を図ります。
- 旧町人町については、深い歴史を持つ町屋や神社仏閣など伝統的な建造物の保全とともに、地域の声を聞きながら、観光資源としてにぎわいのある空間の整備創出を図ります。
- 城下町村上のシンボルである臥牛山は市街地を一望できる眺望はもちろん、四季を通して美しい景観を楽しませてくれる市街地近傍の景観構成要素として、旧武家町、町人町との一体的な保全と活用を図ります。



- 「町屋の人形さま巡り」や「屏風まつり」など、地域の活性化につながる市民の取り組みへの積極的な支援を目指します。また、屋台行事が国の重要無形民俗文化財に指定される「村上大祭」、「瀬波大祭」、「岩船大祭」などの伝統行事の観光資源を有効に活用できるよう、環境の整備を目指します。
- 自動車で訪れる来訪者のまちなかへの流入を抑制するため、市街地外縁部に駐車場を整備し、徒歩や自転車で町屋や武家屋敷を周遊できるような環境づくりを目指します。

### 【岩船港周辺の整備】

- 観光拠点である岩船港と岩船商店街については、来訪者や買い物客が歩いて楽しめるような一体の環境整備を目指します。
- 岩船神社や明神橋からの眺望など、歴史ある景観と岩船市街地の活性化とを併せた、魅力ある市街地景観の形成を目指します。



### 【瀬波温泉周辺の整備】

- 瀬波温泉は夏場の海水浴や広域観光の宿泊地として、道路や駐車場の整備充実を図るとともに、日本海が見える温泉街にふさわしい魅力の高い景観形成を目指します。
- 海岸部の松林は、その美しい景観の保護を目指し、温泉街や海岸との連携とともに遊歩道や休憩施設などの整備を目指します。

### 【その他観光交流拠点の方針】

- 夏場の観光ルートとして重要な役割を果たしている国道 345 号は、美しい海岸線の景観に配慮し、駐車場や交通渋滞についての情報提供や環境整備を目指します。
- 鮭公園周辺については、鮭養殖発祥地であり、食文化や奨学制度など地域の人々の暮らしを支えてきた歴史を持つ鮭文化をPRするため、一層の環境整備を目指します。
- 門前地区のホテル鑑賞など、地域の手で育ててきた資源を活用し、交流の促進を図ります。
- かつて北前船の寄港地であった岩船・瀬波などの集落は、当時を偲ばせる建造物を活かしたまちなみの保全とさらなる魅力的な景観の創出を図ります。
- 地域住民による案内ボランティアなどを支援し、地域住民と来訪者との観光を通じた交流の拡大を目指します。



### 3 「誇れるふるさと村上で安心して暮らし続けられるまち」の方針

#### 【身近な生活基盤の整備】

- 市街地や集落内で日常生活に大きな支障を与えている生活道路については、地域の声を聞きながら改善を目指します。
- 中心市街地内の道路整備については、歴史的資源の保全活用と調和がとれ、かつ歩行者の安全性など、生活環境にも配慮した整備を目指します。
- J R村上駅周辺の未利用地においては、市民も来訪者も集えるうるおいのある公園整備などを目指します。
- 冬季における安全な道路環境を確保するため、車道と歩道の除雪体制の確保を図ります。
- まちなかや集落では、子どもや高齢者が気軽に集える身近な公園などの維持充実を目指すとともに、神社境内なども近隣住民の憩いの場として利活用を目指します。
- 下水道概成地区については、未接続世帯の解消を目指します。



#### 【不自由なく移動できる環境の整備】

- 鉄道駅周辺の利便性を高めるため、駐車場・駐輪場などの整備、周辺の緑化、バリアフリー化、他公共交通との連携などの環境整備を目指します。
- 集落において自動車などの移動手段を持たない人たちが、容易に市街地の都市サービスを楽しむことができるよう、新たな公共交通の仕組みを検討し、地域の移動手段の確保を図ります。

#### 【安全に暮らすための施設整備】

- 木造建物が密集する市街地においては、安全で快適な生活環境の形成に向けて、地区内オープンスペースの確保、建物の不燃化・共同化、緑化など適切な改善を目指します。また、避難所まで安全に連絡する避難路の確保など、防災性の向上も目指します。
- 国道345号は上海府地区の住民にとって重要な生命線であるとともに災害発生時の緊急輸送など防災面でも重要な役割を果たすことから、特に冬場の安全な通行が確保されるよう整備改善を目指します。
- また災害時の迂回路として、国道7号と345号を東西に結ぶ林道の充実と広域幹線林道などの整備を目指します。
- 海岸部の集落では、津波の際に集落住民が安全かつ円滑に避難できるよう、避難場所・避難路の周知とこれらの整備を目指します。

### 【地域コミュニティの維持】

- 既存集落は閑静で良好な居住環境を保全することを基本としながら、一定区画数以下の優良な住宅地の整備なども視野に置き、著しい人口減少による地域活力の衰退防止を目指します。
- 地域内の空き家や空き施設などは、地域内の多世代交流や外部住民との交流の場としての活用を目指します。

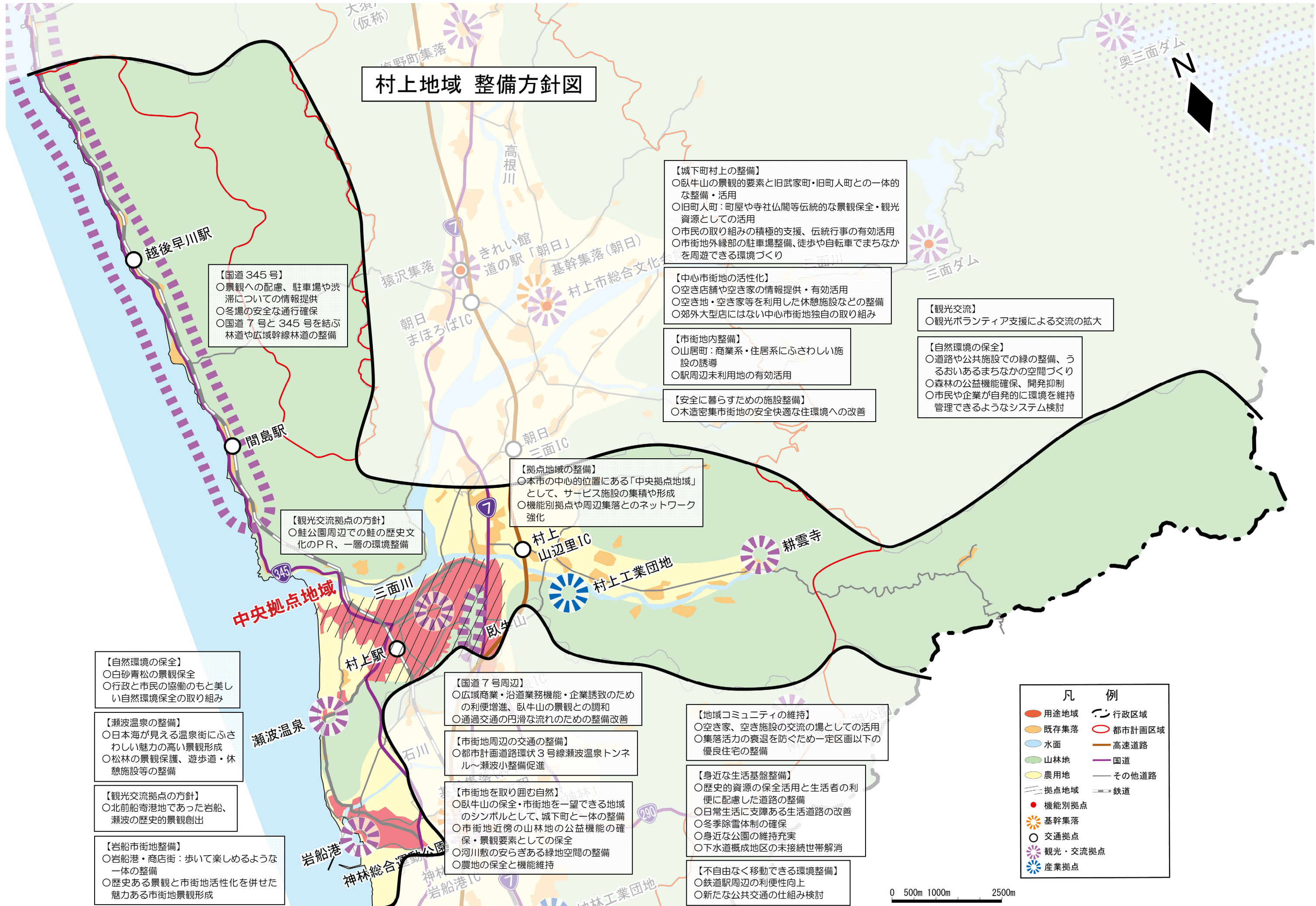
### 【身近な自然環境の保全】

- 道路や公共施設などにおいては、街路樹の整備や花のある景観づくりと、きれいでうるおいのあるまちなか空間の創出を目指します。
- 地域内に広がる森林については、土砂災害の防止や水害の防止、水源涵養、CO<sub>2</sub>吸収、美しい景観の形成などの重要な公益機能を確保するため、開発は抑制し、維持保全を図ります。
- 海岸部については、浸食対策の実施など、美しい白砂青松の景観の保全を目指します。
- 行政と市民の協働のもと、美しい海岸・河川・港などの保全に向けた取り組みを目指します。
- 落葉処理や花壇の手入れ、小水路の清掃など、身近な公共施設の維持管理についても、市民や企業などが自発的に行えるような手法の構築を目指します。





# 村上地域 整備方針図



【国道 345 号】  
 ○ 景観への配慮、駐車場や渋滞についての情報提供  
 ○ 冬場の安全な通行確保  
 ○ 国道 7 号と 345 号を結ぶ林道や広域幹線林道の整備

【城下町村上の整備】  
 ○ 臥牛山の景観的要素と旧武家町・旧町人町との一体的な整備・活用  
 ○ 旧町人町：町屋や寺社仏閣等伝統的な景観保全・観光資源としての活用  
 ○ 市民の取り組みの積極的支援、伝統行事の有効活用  
 ○ 市街地外縁部の駐車場整備、徒歩や自転車でまちなかを周遊できる環境づくり

【中心市街地の活性化】  
 ○ 空き店舗や空き家の情報提供・有効活用  
 ○ 空き地・空き家等を利用した休憩施設などの整備  
 ○ 郊外大型店にはない中心市街地独自の取り組み

【市街地内整備】  
 ○ 山居町：商業系・住居系にふさわしい施設の誘導  
 ○ 駅周辺未利用地の有効活用

【安全に暮らすための施設整備】  
 ○ 木造密集市街地の安全快適な住環境への改善

【観光交流】  
 ○ 観光ボランティア支援による交流の拡大

【自然環境の保全】  
 ○ 道路や公共施設での緑の整備、うるおいあるまちなかの空間づくり  
 ○ 森林の公益機能確保、開発抑制  
 ○ 市民や企業が自発的に環境を維持管理できるようなシステム検討

【拠点地域の整備】  
 ○ 本市の中心的位置にある「中央拠点地域」として、サービス施設の集積や形成  
 ○ 機能別拠点や周辺集落とのネットワーク強化

【観光交流拠点の方針】  
 ○ 鮭公園周辺での鮭の歴史文化のPR、一層の環境整備

【自然環境の保全】  
 ○ 白砂青松の景観保全  
 ○ 行政と市民の協働のもと美しい自然環境保全の取り組み

【瀬波温泉の整備】  
 ○ 日本海が見える温泉街にふさわしい魅力の高い景観形成  
 ○ 松林の景観保護、遊歩道・休憩施設等の整備

【観光交流拠点の方針】  
 ○ 北前船寄港地であった岩船、瀬波の歴史的景観創出

【岩船市街地整備】  
 ○ 岩船港・商店街：歩いて楽しめるような一体の整備  
 ○ 歴史ある景観と市街地活性化を併せた魅力ある市街地景観形成

【国道 7 号周辺】  
 ○ 広域商業・沿道業務機能・企業誘致のための利便増進、臥牛山の景観との調和  
 ○ 通過交通の円滑な流れのための整備改善

【市街地周辺の交通の整備】  
 ○ 都市計画道路環状 3 号線瀬波温泉トンネル～瀬波小整備促進

【市街地を取り囲む自然】  
 ○ 臥牛山の保全・市街地を一望できる地域のシンボルとして、城下町と一体の整備  
 ○ 市街地近隣の山林地の公益機能の確保・景観要素としての保全  
 ○ 河川敷の安らぎある緑地空間の整備  
 ○ 農地の保全と機能維持

【地域コミュニティの維持】  
 ○ 空き家、空き施設の交流の場としての活用  
 ○ 集落活力の衰退を防ぐため一定区画以下の優良住宅の整備

【身近な生活基盤整備】  
 ○ 歴史的資源の保全活用と生活者の利便に配慮した道路の整備  
 ○ 日常生活に支障ある生活道路の改善  
 ○ 冬季除雪体制の確保  
 ○ 身近な公園の維持充実  
 ○ 下水道概成地区の未接続世帯解消

【不自由なく移動できる環境整備】  
 ○ 鉄道駅周辺の利便性向上  
 ○ 新たな公共交通の仕組み検討

凡 例	
	用途地域
	既存集落
	水面
	山林地
	農用地
	拠点地域
	機能別拠点
	基幹集落
	交通拠点
	観光・交流拠点
	産業拠点
	行政区画
	都市計画区域
	高速道路
	国道
	その他道路
	鉄道

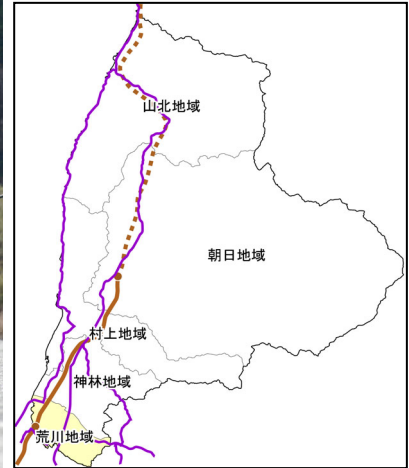
0 500m 1000m 2500m

# 2. 荒川地域

# 川と花

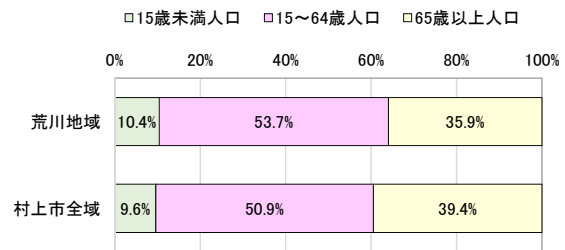
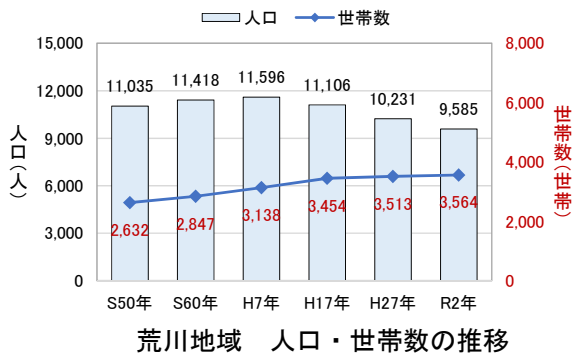


【荒川地域の位置】



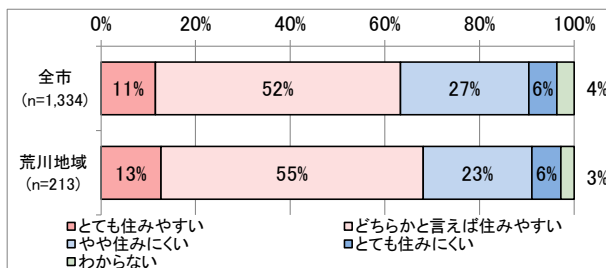
## 【地域の現状】

- ・村上市南端、旧荒川町の区域
- ・山林地が約 50%、農地が約 39%、宅地が約 8%
- ・人口動態は減少、世帯数は横ばい傾向
- ・65 歳以上高齢者比率は 35.9% で市平均より低い

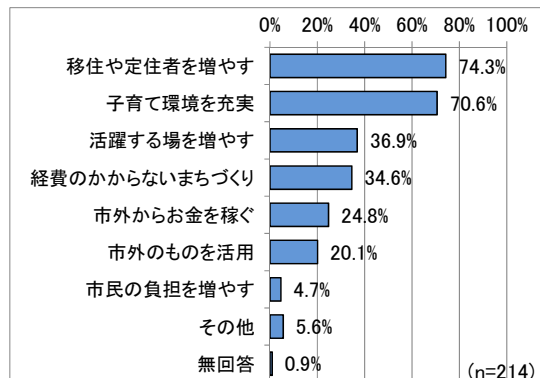


## 【総合計画アンケート結果】

・村上市は住みやすいか (荒川地域)



・村上市の今後のまちづくり



## 荒川地域の課題

### 【荒川をはじめとした貴重な自然の保全・活用】

- ①地域のシンボルである清流荒川の保全と有効な利活用
- ②高坪山や福祉の森など山地・丘陵地の景観の保全と有効活用
- ③優良農地や農村の保全と持続的発展

### 【市街化の適切なコントロールと市街地の生活利便の向上】

- ④市街地内未利用地の解消と郊外開発の適切なコントロール
- ⑤駅・商業・行政・医療など都市機能の連携・充実
- ⑥高速 I C、国道 7 号・113 号の広域交通網の利便性を活かしたまちづくり

### 【安全・快適・便利な居住環境の整備】

- ⑦公園・広場など憩いの場、下水道への接続率向上など身近な生活基盤の整備
- ⑧市街地や集落内の狭小道路解消など安全快適な生活環境づくり
- ⑨空き地・空き家・空き施設の有効活用とコミュニティ強化・交流人口拡大

## 荒川地域の将来目標

### ■ 「川」と「花」の文化

清流荒川を示す「川」と地域の特徴であるユリやクロッカスなどを栽培してきた歴史・経験を踏まえ、「花」をふるさとの宝として、これからの地域づくりに活かしていきます。

#### 1 高坪山や清流荒川が育む豊かな自然のまち

清流荒川が運ぶ肥沃な土地に恵まれ発展してきた歴史を背景に、今後とも山・川・田園などの故郷の自然を保全活用し、まちと自然が互いに共存しながら清流のイメージにふさわしい美しいまちを引き継いでいく地域を目指します。

#### 2 村上の副次拠点としての便利でにぎわいのあるまち

荒川市街地は、村上市街地の副次的機能を有する都市拠点として、買い物・行政・医療・福祉・公共交通など生活サービス機能の充実と都市基盤整備を進め、優良農地に囲まれた、誰もが安心して元気に暮らせる緑豊かなコンパクトなまちを目指します。

#### 3 生まれ育ったふるさとへ帰りたくなる魅力のまち

古くからの交通の要衝であり市内で最も早く高速道路が開通した地域であること、また多くの生産量を誇るクロッカスなど、荒川地域の強みを最大限活用しながら住民同士や外部との交流を促進するとともに、新しい魅力を創造し若者が住み続け、また帰って来たいようなまちを目指します。

# 荒川地域の整備方針

## 1 「高坪山や清流荒川が育む豊かな自然のまち」の方針

### 【自然環境の保全】

- 荒川地域の代表的な資源である高坪山、荒川、田園風景などの自然的景観は、地域の貴重な財産として次世代への引き継ぎを図ります。
- 荒川をはじめとした水辺空間は、多様な生物の生息空間であるとともに、市民にうるおいや安らぎを提供してくれます。今後、市民や来訪者がレジャーや釣り、散策などを楽しめる交流空間として、美しい水と緑の河川空間の保全を図ります。
- 市街地を取り囲むように広がる農用地については、安全でおいしい米や野菜の供給基地として、また防災やCO<sub>2</sub>吸収など環境負荷低減要素として、その機能維持を図ります。



### 【自然資源の利活用】

- 高坪山の自然の保全を基本に、自然体験型レクリエーション地としての整備を目指します。
- 荒川河川敷では既存のゴルフ場とともに、美しく安らぎのある親水空間としての整備と、ふるさとの川を身近に感じられる環境づくりを目指します。
- 本地域特有の「風」を利用した風力発電や休耕田を利用したソーラー発電など、環境負荷の少ない新たなエネルギー供給施設の整備を目指します。



## 2 「村上の副次拠点としての便利でにぎわいのあるまち」の方針

### 【南部拠点地域の形成】

- 本市の南に位置する荒川地域の市街地圏域を「南部拠点地域」とし、サービス施設の集積や形成により市民の生活に即した土地利用を進めるとともに、機能別拠点や周辺集落とのネットワーク強化を図ります。

### 【市街地内都市基盤整備】

- 市街地周辺の将来の交通需要を想定し、必要に応じた計画的な道路整備を目指します。なお、既存の都市計画道路においても必要性や実現性の低いものに関しては変更・廃止も視野に入れた検討を図ります。
- 下水道（汚水）整備地区については水洗化を促進し、快適な生活環境の創出を目指します。

- 国道7号沿道は、既存商業や公共施設などが立地する商業業務施設用地としての利便増進とともに、沿道緑化などにより快適性の向上を目指します。

#### 【市街地内都市的土地利用の推進】

- 市街地内に残存する未利用地については、今後発生する宅地開発などの受け皿として優先的に誘導し、その解消を目指します。
- JR坂町駅周辺は、交通結節点として公共交通機関の乗継ぎ機能の改善を目指すとともに、近隣に集積する店舗、飲食店、宿泊施設と居住機能が一体となった、利便性の高い地区として整備を目指します。
- 県立坂町病院西側の地区は、保育園、医療福祉施設に近く、さらに幹線道路である国道7号・113号へのアクセスも可能で便利な住宅地としての基盤整備を目指し、残存農地の解消と若者定着・Uターン者の受け皿としての整備を目指します。
- 沢見工業団地と中条工業高校跡については、工業を中心とした土地利用への利便増進を図ります。



### 3 「生まれ育ったふるさとへ帰りたくなる魅力のまち」の方針

#### 【交流を拡大する環境整備】

- まちと農業を連携させ、地域内で採れる安全で新鮮な農産物を販売し、かつ来訪者と交流できる空間の整備を目指します。また、雇用の場を確保するため、農産物を加工し販売できるような施設の整備を目指します。
- グリーンパークあらかわ総合運動公園は、良好な自然の中で子どもから高齢者まで、気軽に集いスポーツを楽しめるよう、その機能充実とともにアクセス改善など利便性向上を目指します。
- 地域の児童の遊び場や高齢者の交流の場として、公民館など既存の公共施設の開放を目指します。また、使われていない施設を利用して、店舗や飲食店、高齢者や地域住民が利用する施設の誘導を目指します。
- 烏川沿いなど市街地の散歩道として利用される場所については、都市の景観形成や健康増進など、それぞれが持つ特徴や機能の維持増進を図った緑道を目指します。
- 「獅子踊り」などの地域のまつり行事の保全とこれらの交流資源としての活用を目指します。



- JR坂町駅には、鉄道交通の要衝としての象徴的な転車台（方向変換施設）などが残っているので、その保存や活用を含めた景観の取り組みを目指します。
- 国道7号沿道については、日東道荒川胎内ICからの流入利用者をはじめ、荒川地域と国道113号沿線方面からの利用者を前提に、販売や沿道サービス、医療機関への利便増進など、地域振興に資するエリアを目指します。

#### 【道路交通環境の整備】

- 国道7号は、村上市街地や胎内・新発田市方面への通勤や買い物など日常の重要な生活幹線でもあることから、渋滞箇所の解消と、円滑な交通の流れの実現を目指します。
- 現在整備中の3・4・22 東大通り線、3・4・27 南中央線の早期供用を目指し、市街地内の交通流の円滑化と高速交通網へのアクセス強化を図ります。
- 集落に住む交通手段を持たない住民が、容易に市街地の都市サービスを楽しむよう、新たな公共交通の仕組みを検討し地域の移動手段の確保を図ります。

#### 【身近な生活基盤整備】

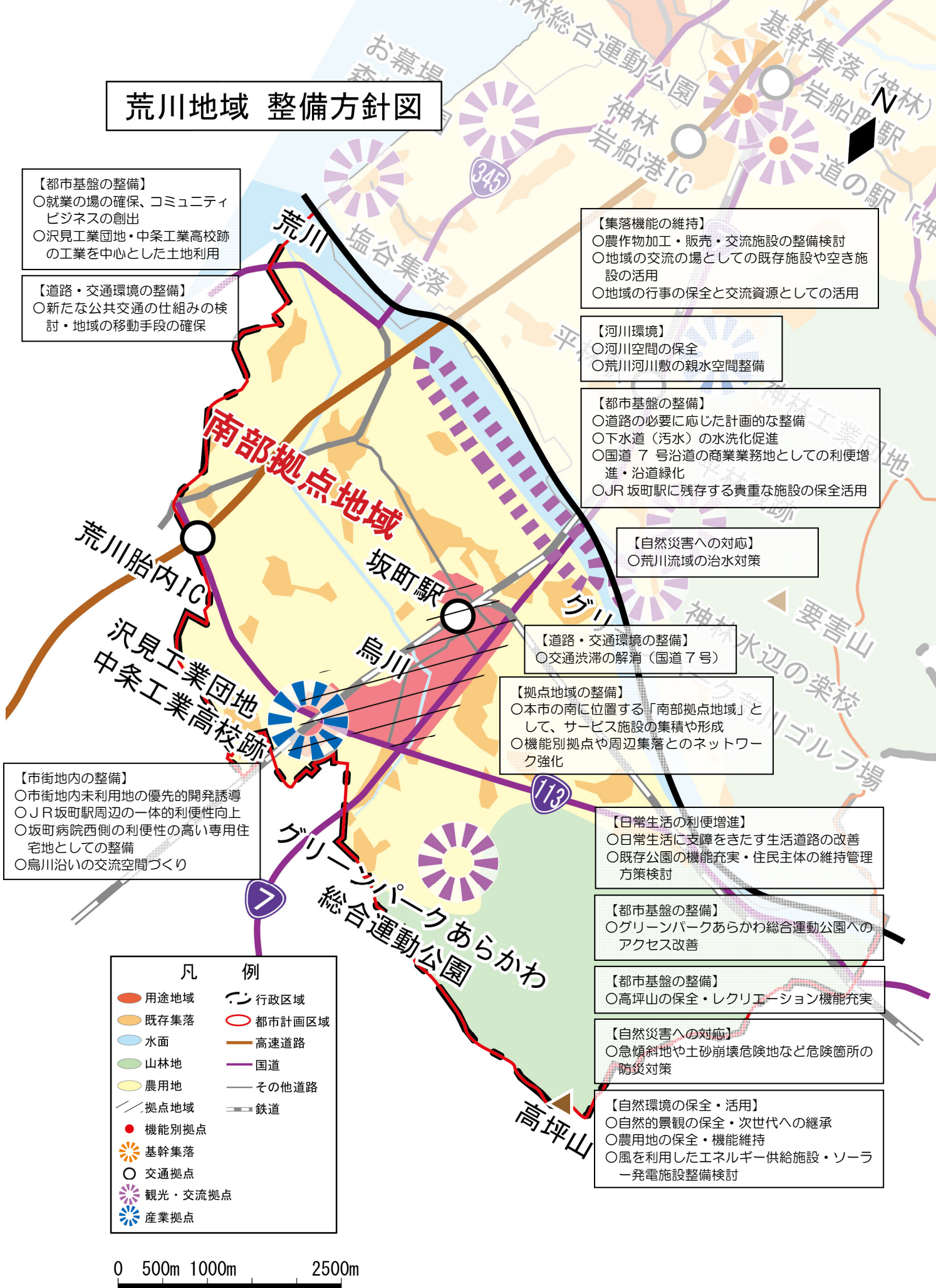
- 市街地や集落内で日常生活に大きな支障を与えている生活道路については、地域の声を聞きながら改善を目指します。
- 既存の身近な公園の機能充実とともに、住民が気軽に集い憩えるような空間整備も視野に入れ、住民がその使い方の検討や維持管理に直接関わっていけるような仕組みづくりを目指します。
- 若者の流出を防ぎ、また一度他地域に出た出身者がUターンする際の就業の場を確保するため、新たなビジネスの創出や魅力ある企業の誘致を目指します。
- まつり行事や集落で行う協働作業が効率的に継続され、地域コミュニティが維持されるような仕組みづくりを目指します。



#### 【自然災害への対応】

- 地域内の急傾斜地や土砂崩壊危険地区など、危険箇所の防災対策を目指します。
- 令和4年8月の大雨による災害を教訓に、同様な災害の再発を避けるための適切な治水対策を推進します。

# 荒川地域 整備方針図



**【都市基盤の整備】**  
 ○就業の場の確保、コミュニティビジネスの創出  
 ○沢見工業団地・中条工業高校跡の工業を中心とした土地利用

**【道路・交通環境の整備】**  
 ○新たな公共交通の仕組みの検討・地域の移動手段の確保

**【集落機能の維持】**  
 ○農作物加工・販売・交流施設の整備検討  
 ○地域の交流の場としての既存施設や空き施設の活用  
 ○地域の行事の保全と交流資源としての活用

**【河川環境】**  
 ○河川空間の保全  
 ○荒川河川敷の親水空間整備

**【都市基盤の整備】**  
 ○道路の必要に応じた計画的な整備  
 ○下水道（汚水）の水洗化促進  
 ○国道 7 号沿道の商業業務地としての利便増進・沿道緑化  
 ○JR 坂町駅に残存する貴重な施設の保全活用

**【自然災害への対応】**  
 ○荒川流域の治水対策

**【道路・交通環境の整備】**  
 ○交通渋滞の解消（国道 7 号）

**【拠点地域の整備】**  
 ○本市の南に位置する「南部拠点地域」として、サービス施設の集積や形成  
 ○機能別拠点や周辺集落とのネットワーク強化

**【市街地内の整備】**  
 ○市街地内未利用地の優先的開発誘導  
 ○JR 坂町駅周辺の一体的利便性向上  
 ○坂町病院西側の利便性の高い専用住宅地としての整備  
 ○鳥川沿いの交流空間づくり

**【日常生活の利便増進】**  
 ○日常生活に支障をきたす生活道路の改善  
 ○既存公園の機能充実・住民主体の維持管理方策検討

**【都市基盤の整備】**  
 ○グリーンパークあらかわ総合運動公園へのアクセス改善

**【都市基盤の整備】**  
 ○高坪山の保全・レクリエーション機能充実

**【自然災害への対応】**  
 ○急傾斜地や土砂崩壊危険地など危険箇所の防災対策

**【自然環境の保全・活用】**  
 ○自然的景観の保全・次世代への継承  
 ○農用地の保全・機能維持  
 ○風を利用したエネルギー供給施設・ソーラー発電施設整備検討

凡 例	
用途地域	行政区域
既存集落	都市計画区域
水面	高速道路
山林地	国道
農用地	その他道路
拠点地域	鉄道
機能別拠点	
基幹集落	
交通拠点	
観光・交流拠点	
産業拠点	

# 3. 神林地域

# 農と星

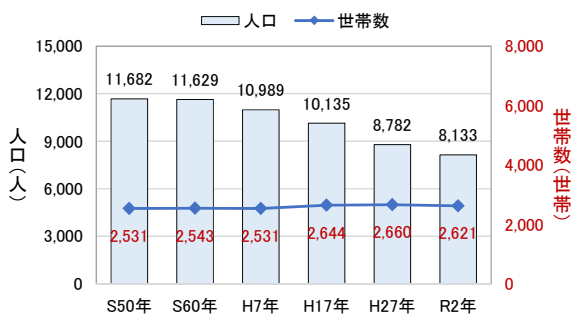


【神林地域の位置】

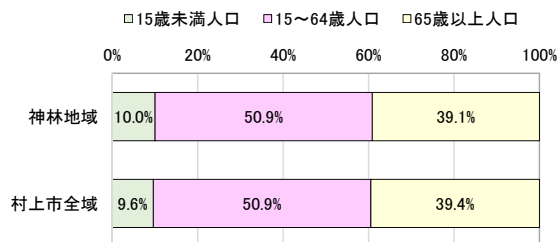


## 【地域の現状】

- ・村上市南部、旧神林村の区域
- ・山林地が約 68%、農地が約 27%、宅地が約 3%
- ・人口は減少傾向、世帯数は横ばい状態で推移
- ・65 歳以上高齢者比率は 39.1% で市平均並み



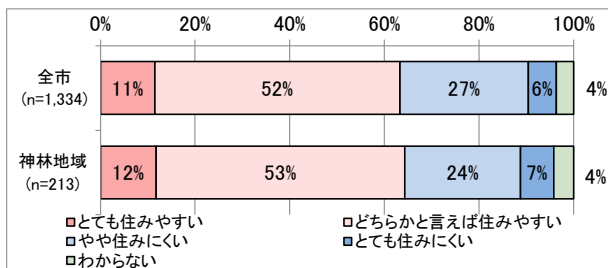
神林地域 人口・世帯数の推移



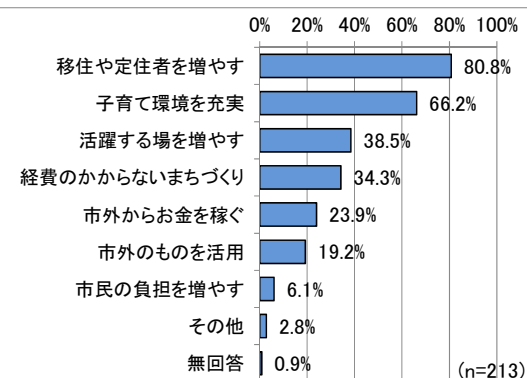
R2年神林地域 年齢3区分別人口構成比

## 【総合計画アンケート結果】

・村上市は住みやすいか (神林地域)



・村上市の今後のまちづくり





## 神林地域の課題

### 【地域に分布する固有の資源の一層の磨き上げと連携】

- ①歴史文化的価値の保全と地域振興への活用
- ②お幕場、大池の白鳥、旧農家住宅、平林城跡、南大平の天体観測施設（ポーター神林）など、点在する資源を連携させた活用
- ③NPO・地域づくり団体の一層の活性化と市民・行政との効果的な連携促進

### 【農業・農村活性化と自然環境の保全活用】

- ④米・ネギ・大豆生産など、基幹産業である農業と農村の継続的な維持保全
- ⑤ふるさとの景観である農村集落と田園風景・山地風景の調和
- ⑥要害山・荒川・田園・白砂青松などの自然環境の保全活用

### 【集落の安全性・快適性の確保】

- ⑦河川氾濫などの水害対策、災害時の安全性確保
- ⑧草刈りやまつり行事の継続など集落単位でのコミュニティ活動の維持支援
- ⑨高齢者が容易に都市的サービスを楽しむための公共交通の整備

## 神林地域の将来目標

### ■ 「農」と「星」の文化

神林の基幹産業である「農業」と「星」がきれいに映える豊かな自然環境を大切に保全し、今後とも魅力ある地域づくりに活用していきます。

#### 1 歴史文化資源を活かしたまち

北前船の寄港地で、今も港町のまちなみが残る塩谷集落をはじめ、お幕場、平林城跡、旧農家住宅など、地域固有の歴史文化的資源を保全し、さらに磨き上げ魅力を高めるとともに、貴重な交流資源として相互の連携を図り、活気ある地域を目指します。

#### 2 豊かな自然に育まれた農作物と美しい星空のまち

要害山・大平山の山並み、白砂青松の海岸に囲まれて育つ岩船産コシヒカリややわ肌ネギなどの生産地として、安全で良質な食の供給機能を守るとともに、澄んだ空気と緑の中で、星空が美しい環境のまちを目指します。

#### 3 高齢者も安心して暮らせるまち

既存集落における身近な道路整備や下水道（污水）への接続率向上などによる生活基盤の改善や高齢者にも使いやすい公共交通の構築、地域コミュニティによる防災活動などにより、便利で安心して暮らせる地域を目指します。

# 神林地域の整備方針

## 1 「歴史文化資源を活かしたまち」の方針

### 【塩谷集落の魅力向上】

- 景観計画の重点地区に指定している塩谷地区は、北前船の寄港地としての歴史的景観を保全・創出し、住民主体で構想策定や景観ルールづくりなど、魅力の高いまちなみとして多様な交流の展開を図ります。
- 「塩谷の町屋散策」などのイベントを交流資源として支援するとともに、多くの来訪者が訪れるにぎわいある空間としての整備を図ります。
- 塩谷集落とお幕場森林公園、岩船港、瀬波温泉などとの連携により観光地としての一層の魅力向上を目指します。



### 【観光・交流施設の連携】

- 日本の白砂青松 100 選に選定された「お幕場森林公園」や「平名城跡」、「ポーラースター神林」、「南大平ダム湖公園」など、地域の観光資源の一層の魅力向上とこれら資源相互を効果的につなげ、交流人口拡大を目指します。
- 神林総合運動公園（パルパーク神林）は、市内他地域の運動公園との連携のもと、村上市民をはじめ市外からの利用者也受け入れる広域的なスポーツ拠点として、さらなる利便増進を目指します。
- 国道 290 号・345 号は、地域外からの来訪者が多く利用する観光道路として、隣接する関川村や胎内市との関係も考慮しながら、周囲の景観と調和した案内板や沿道の緑化など、魅力ある環境整備を目指します。
- 集落整備にあたっては、例えば「星空に続くまち、南大平」などのキャッチフレーズを掲げ、そのイメージに沿った環境づくりを進めるなど、個性を活かした整備手法を検討します。
- 道の駅「神林」の休憩、物産販売、情報発信などの機能強化とともに、パーク＆ライドとしての機能も視野に入れた整備を目指します。



## 2 「豊かな自然に育まれた農作物と美しい星空のまち」の方針

### 【農地の保全】

- 農地については、安全で良質な米や野菜の供給基地として、またうるおいある景観形成地として、その機能維持を図ります。

### 【自然環境の保全】

- 地域東部に広がる山林地は、土砂災害の防止や水害の防止、水源涵養、CO<sub>2</sub>の吸収、景観形成、保健休養など、重要な公益機能を確保するため、開発は抑制し、維持保全を図ります。
- 大気環境や夜間景観を悪化させるおそれのある施設の立地を防止するとともに、山や平地部での緑を保全し、美しい星空を見ることができ環境の維持を目指します。



### 【海岸の保全】

- 海岸部については、浸食対策の実施など、美しい白砂青松の景観の保全を図ります。

### 【農産品の活用と雇用の場づくり】

- 主要な観光拠点などに「コシヒカリ」や「やわ肌ネギ」など地域の特産品をPR・販売できる機能整備など、都市と農業が互いに発展できる方策づくりを目指します。また、地域住民の手で地場産の加工品を製造し、販売する環境づくりを目指します。
- 神林工業団地へは、周辺環境の悪化のおそれのない企業の誘致を促進し、地域の雇用の場の確保を目指します。



## 3 「高齢者も安心して暮らせるまち」の方針

### 【機能別拠点の形成】

- 地域内にある道の駅やスポーツ施設などを「機能別拠点」とし、「拠点地域」や周辺集落とのネットワーク整備と連携強化により、市民の利便向上と交流を通じた地域活性化を図ります。

### 【基幹集落の整備】

- J R 岩船町駅周辺は、行政・郵便・小学校・運動公園などの公共公益施設のほか飲食店や業務施設も立地する地域の中心であることから、歩行者空間の整備と駅を中心とした交通乗継ぎ機能の改善を目指します。

### 【集落機能の維持】

- 既存集落の生活道路については、安全性や防災などの観点から、地域の要望に応じて整備改善を目指すとともに、集落内に残る歴史的建造物などの保全と活用を目指します。
- 既存集落は閑静でゆとりある居住環境の保全を前提としますが、田園居住ニーズに対応した優良な住宅や環境悪化のない生活利便施設の機能整備など、集落人口の減少抑制や生活環境の向上を目指します。
- まつり行事や集落で行う協働作業が効率的に継続され、地域環境が維持されるような仕組みづくりを目指します。
- 集落の公園や集会場など、使われていない施設の利用も視野に入れながら、高齢者から子どもまで多様な世代同士が交流できる場の整備を目指します。
- 集落に住む交通手段を持たない住民が、容易に市街地の都市サービスを楽しむよう、新たな公共交通の仕組みなどを検討し、地域の移動手段の確保を図ります。

### 【安全に暮らすための環境整備】

- 国道 290 号桃川峠付近は、冬季は路面が凍結することもあるため、関係機関に働きかけ、安全性向上のための整備を目指します。
- 一級河川の荒川や石川、百川、笛吹川など地域内を流れる中小河川の改修を関係機関に働きかけ、田んぼダムの活用と合わせて大雨時の水害防止を目指します。
- 地域内の急傾斜地や土砂崩壊危険地区などの危険地区の防災対策や海岸浸食対策の実施を目指します。
- 令和 4 年 8 月の大雨による災害を教訓に、同様な災害の再発を避けるための適切な治水対策を推進します。

# 神林地域 整備方針図

【集落環境整備と活性化】  
 ○生活道路の整備改善、歴史的建造物の保全活用  
 ○閑静でゆとりある居住環境の保全、集落人口減少抑制のための利便施設整備  
 ○未利用施設の活用も視野に入れた交流の場の整備  
 ○集落内行事の継続、地域環境の維持

【機能別拠点の整備】  
 ○道の駅やスポーツ施設などの「機能別拠点」と「拠点地域」や周辺集落との連携強化

【基幹集落の整備】  
 ○JR岩船町駅周辺の歩行者空間整備と公共交通乗り継ぎ機能改善

【農地・自然環境の保全】  
 ○農地の機能維持  
 ○要害山などの山林地の維持保全  
 ○星空を眺められる環境の維持

【安全な生活環境整備】  
 ○国道 290 号桃川峠の安全性向上

【地域の足の確保】  
 ○新たな公共交通の仕組み、地域の移動手段の確保

【農産品の活用と雇用の場づくり】  
 ○地域の特産品の販売機能・地場産品の加工・販売の仕組みづくり  
 ○神林工業団地への環境悪化の少ない企業の誘致

【自然災害への対応】  
 ○中小河川の改修・水害防止  
 ○急傾斜地や土砂崩壊危険地の防災対策

【海岸の保全】  
 ○白砂青松の景観保全

【塩谷集落の整備】  
 ○住民主体の多様な交流展開支援  
 ○塩谷の町屋散策など来訪者が訪れにぎわいのある空間づくり  
 ○塩谷・お幕場・瀬波温泉の連携による観光の魅力化

【観光・交流の拡大】  
 ○地域観光資源の魅力向上・資源相互の連携  
 ○総合運動公園と既存施設を活用した合宿機能の整備  
 ○国道 290 号・345 号の観光を意識した魅力ある環境整備  
 ○キャッチフレーズを持った集落の環境整備  
 ○道の駅「神林」の機能充実

凡 例	
	用途地域
	既存集落
	水面
	山林地
	農用地
	拠点地域
	機能別拠点
	基幹集落
	交通拠点
	観光・交流拠点
	産業拠点
	行政区域
	都市計画区域
	高速道路
	国道
	その他道路
	鉄道

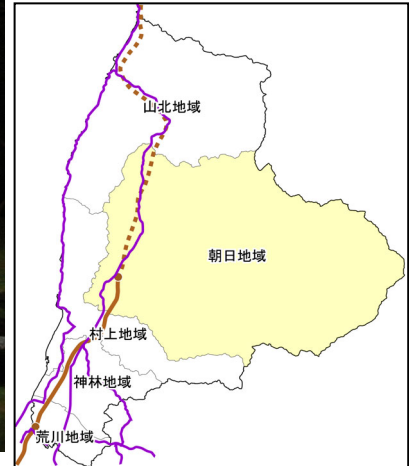
0 500m 1000m 2500m

# 4. 朝日地域

# 森と農

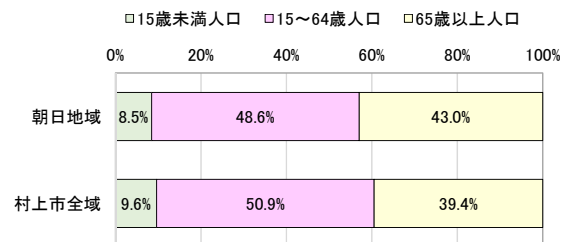
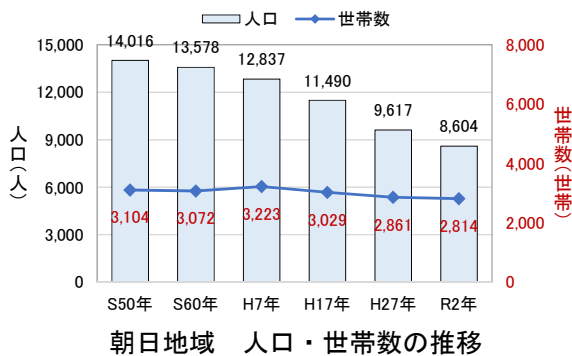


【朝日地域の位置】



## 【地域の現状】

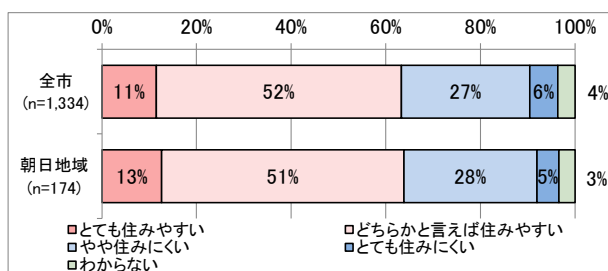
- ・ 村上市東部、旧朝日村の区域
- ・ 山林地が約 94%、農地が約 5 %、宅地が約 1 %
- ・ 人口は減少傾向、世帯数はほぼ横ばい状態で推移
- ・ 65 歳以上高齢者比率は 43.1% で市平均より高い



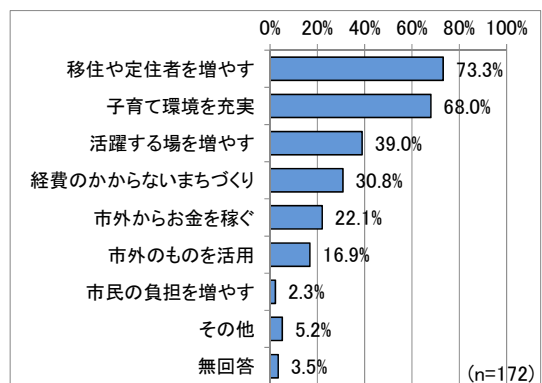
R2年朝日地域 年齢3区分別人口構成比

## 【総合計画アンケート結果】

・ 村上市は住みやすいか (朝日地域)



・ 村上市の今後のまちづくり



## 朝日地域の課題

### 【地域の魅力の再認識と活性化に向けた活用】

- ①大須戸能・旧宿場町のまちなみなど地域の歴史文化要素の保全と発展的活用
- ②鈴ヶ滝、三面ダム・奥三面ダムなどの景観資源の活用
- ③日東道とIC建設効果を活かした観光の振興と無秩序開発の抑制

### 【自然環境の保全と人との共存・共生】

- ④三面川・高根川などの流域全体の生活に密着した水辺の環境保全
- ⑤国立公園など広く分布する自然環境・景観の保全と後世への継承
- ⑥地域の原風景である美しい農村集落の環境・景観の保全

### 【安全安心な暮らしの確保】

- ⑦住民同士のつながりのある集落の形成
- ⑧公共交通の利便性向上
- ⑨身近な公園の整備や日常的な買い物・医療・福祉など、生活環境の改善

## 朝日地域の将来目標

### ■ 「森」と「農」の文化

朝日地域は「森」に代表される自然の恵みと平野部での「農業」により発展してきました。今後ともこれら地域の特徴を大切に保全し、地域づくりに活用していきます。

#### 1 伝統芸能など多様な資源を活かすまち

大須戸能など古くから地域に伝わる伝統芸能や鈴ヶ滝などの自然景観、さらにはリニューアルが進む道の駅「朝日」などの観光・交流資源も含めて、改めてその価値を再認識した上でより魅力アップを図るとともに、各資源を効果的につなげて、地域の活性化を目指します。

#### 2 雄大な国立公園に抱かれた豊かな自然と共生するまち

磐梯朝日国立公園に指定される広大な山林地や三面川・高根川などの河川とその流域の農地など、縄文時代から受け継がれている豊富な自然の恵みと循環を今後とも大切に守り続け、豊かな自然的地域を目指します。

#### 3 暮らしやすい農村づくり

地域住民同士の支え合いの精神を大切に伸ばしつつ、併せて生活基盤の改善や地域の移動手段的確保による生活利便性の向上を図り、高齢者も含めて誰もが安心して暮らせる環境の形成を目指します。

# 朝日地域の整備方針

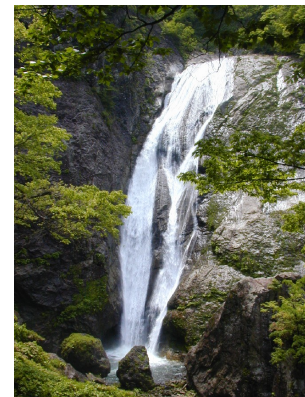
## 1 「伝統芸能など多様な資源を活かすまち」の方針

### 【地域文化を活かした活性化】

- 県指定文化財の「大須戸能」など地域に伝わる伝統行事やまつり、鳴海金山などの歴史文化的資源を保全するとともに、都市との交流を拡大するための貴重な資源としての有効な活用を目指します。
- 本市と山形県鶴岡市を結ぶ出羽街道沿いにある猿沢・塩野町・蒲萄などの集落は、街道としてのまちなみの保全とさらなる魅力的な景観の創出を図ります。
- 高根集落で取り組んでいる廃校利用への支援など、住民主体の取り組みの活性化を目指します。

### 【自然資源を活かした活性化】

- 三面ダム・奥三面ダム、鈴ヶ滝など、水辺の眺望を活かした観光資源の魅力をより高めるとともに、これらの資源を相互に連携させて、相乗効果により交流人口の拡大を目指します。
- 本地域と山形県を結ぶ朝日スーパーライン（県道鶴岡村上線）と市道三面小国線は、朝日連峰などの大自然を満喫できる観光道路として、通行時の安全性向上を目指します。



### 【高速道路 I C 整備を活かした活性化】

- 日東道朝日まほろば I C と国道 7 号とのアクセス向上を踏まえ、道の駅「朝日」拡充基本計画に基づき、周辺との連携を強化し、観光拠点化と交流人口拡大を目指します。



### 【その他の地域資源の活用】

- 観光農園でのサクランボ、ブドウ栽培など、地域特産の農産物を活用した観光交流による地域の活性化を目指します。
- ぶどうスキー場のほか、高根集落～大毎集落間のスノーモービル体験などを活用し、冬季降雪時の交流拡大を目指します。



## 2 「雄大な国立公園に抱かれた豊かな自然と共生するまち」の方針

### 【自然環境の保全活用】

- 地域面積の大半を占める山林地については、土砂災害の防止や水害の防止、水源涵養、CO<sub>2</sub>の吸収、朝日らしい景観形成、保健休養などの多面的な公益機能を確保するため、維持保全を図ります。
- 三面川・高根川などの河川の水質悪化を防ぎ、川原の環境を整備することで、人と河川や水棲生物がふれあえる親水空間の創出を目指します。また、来訪者などのごみ捨てマナーの向上啓発により、山林や河川、湖沼などのきれいな自然環境・景観の保全を図ります。
- 高根川や三面川沿岸の平野部に広がる農地を保全し、安全でおいしい米や野菜の生産基地として、またうるおいある景観形成地として、その機能維持を図ります。



### 【自然災害への対応】

- 地域内の急傾斜地や土砂崩壊危険地区などの危険地区の防災対策を目指します。
- 山間地の集落については、震災時の土砂崩れに伴う孤立化を防止するため、迂回路として、既存の林道や農道の利用を前提としたネットワーク化を目指します。
- 三面川や高根川など地域内を流れる河川の改修を関係機関に働きかけ、大雨時の水害防止を目指します。

## 3 「暮らしやすい農村づくり」の方針

### 【機能別拠点の形成】

- 地域内にある道の駅やレジャー施設などを「機能別拠点」とし、「拠点地域」や周辺集落とのネットワーク整備と連携強化により、市民の利便向上と交流を通じた地域活性化を図ります。

### 【基幹集落の整備】

- 岩沢集落周辺については、行政・郵便・中学校・体育館・文化会館などの公共公益施設に加えて飲食店や事務所などが立地する地域の中心であるため、地域内各地からのアクセス向上と歩道整備など歩行者の安全性確保を目指します。

### 【道路交通体系の整備】

- 国道7号交差点などにおいて、村上市街地へ向かう交通が集中して朝夕に渋滞が発生することから、渋滞解消のための改善を目指します。

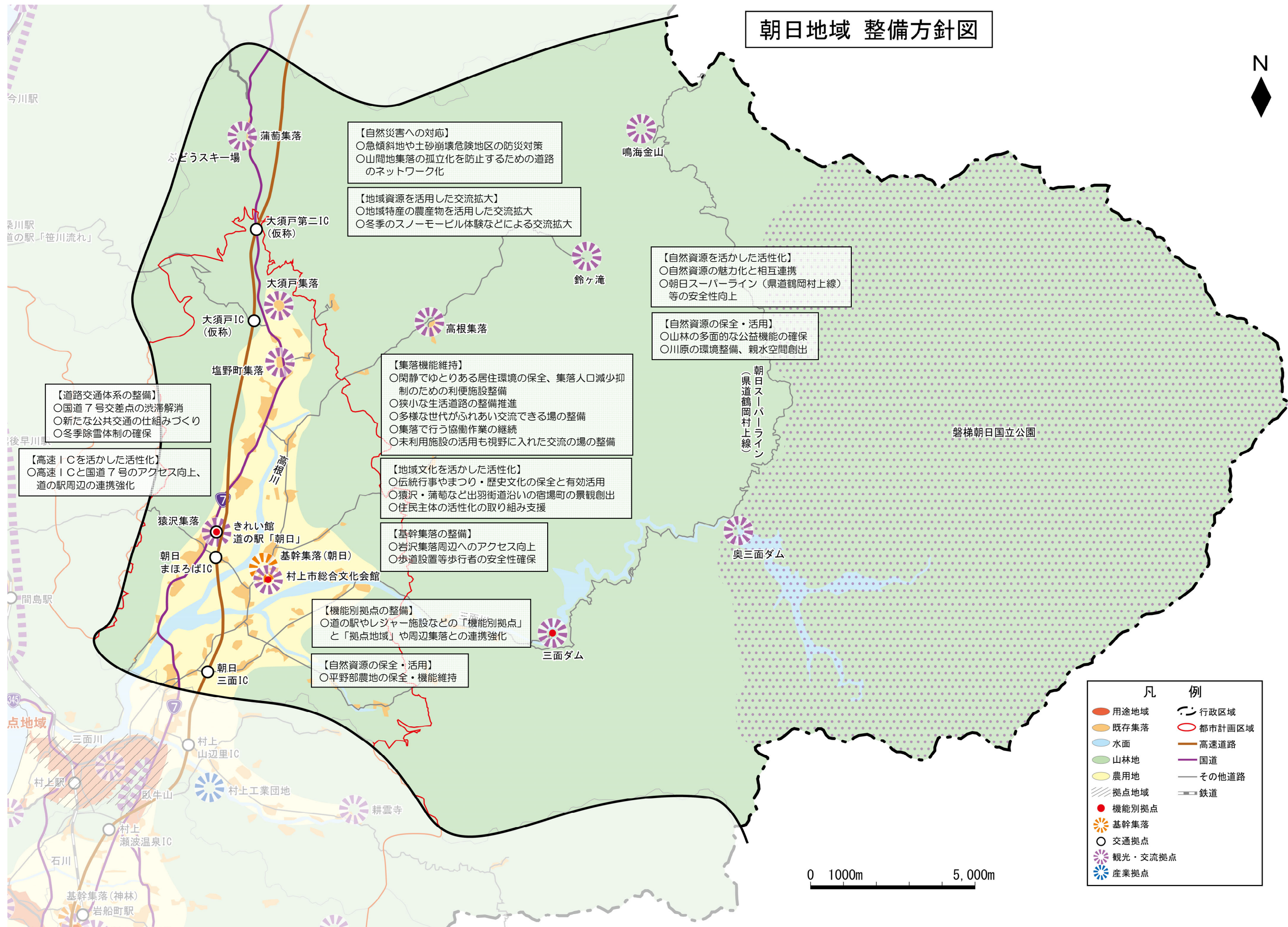
- 集落に住む交通手段を持たない住民が、容易に市街地の都市サービスを楽しむよう、新たな公共交通の仕組みづくりなどを検討し、地域の移動手段の確保を図ります。
- 冬季の安全な道路環境を確保するため、車道および歩道の除雪体制の確保を目指します。

### 【集落機能の維持】

- 既存集落は閑静でゆとりある居住環境の保全を前提としますが、田園居住ニーズに対応した優良な住宅や環境悪化のない生活利便施設の整備などにより、集落人口の減少抑制や生活環境の向上を目指します。
- 集落内の狭小な生活道路については、緊急車両の通行が可能となるよう整備を目指します。
- 集落で行う協働作業が効率的に継続され、地域環境が維持されるような仕組みづくりを目指します。
- 集落の公園や集会場など、高齢者や子どもを含めた多様な世代がふれあい交流できる場の整備を目指します。
- 集落内の空き家・空き施設などを活用して、外部の人たちと地域住民が交流し、また地域製品の提供や技術体験ができる施設の整備を目指します。



# 朝日地域 整備方針図



【自然災害への対応】  
 ○急傾斜地や土砂崩壊危険地区の防災対策  
 ○山間地集落の孤立化を防止するための道路のネットワーク化

【地域資源を活用した交流拡大】  
 ○地域特産の農産物を活用した交流拡大  
 ○冬季のスノーモービル体験などによる交流拡大

【自然資源を活かした活性化】  
 ○自然資源の魅力化と相互連携  
 ○朝日スーパーライン（県道鶴岡村上線）等の安全性向上

【自然資源の保全・活用】  
 ○山林の多面的な公益機能の確保  
 ○川原の環境整備、親水空間創出

【集落機能維持】  
 ○閑静でゆとりある居住環境の保全、集落人口減少抑制のための利便施設整備  
 ○狭小な生活道路の整備推進  
 ○多様な世代がふれあい交流できる場の整備  
 ○集落で行う協働作業の継続  
 ○未利用施設の活用も視野に入れた交流の場の整備

【地域文化を活かした活性化】  
 ○伝統行事やまつり・歴史文化の保全と有効活用  
 ○猿沢・蒲萄など出羽街道沿いの宿場町の景観創出  
 ○住民主体の活性化の取り組み支援

【基幹集落の整備】  
 ○岩沢集落周辺へのアクセス向上  
 ○歩道設置等歩行者の安全性確保

【機能別拠点の整備】  
 ○道の駅やレジャー施設などの「機能別拠点」と「拠点地域」や周辺集落との連携強化

【自然資源の保全・活用】  
 ○平野部農地の保全・機能維持

【道路交通体系の整備】  
 ○国道7号交差点の渋滞解消  
 ○新たな公共交通の仕組みづくり  
 ○冬季除雪体制の確保

【高速ICを活かした活性化】  
 ○高速ICと国道7号のアクセス向上、道の駅周辺の連携強化

凡 例	
	用途地域
	既存集落
	水面
	山林地
	農用地
	拠点地域
	機能別拠点
	基幹集落
	交通拠点
	観光・交流拠点
	産業拠点
	行政区域
	都市計画区域
	高速道路
	国道
	その他道路
	鉄道

0 1000m 5,000m

# 5. 山北地域

# 海と山

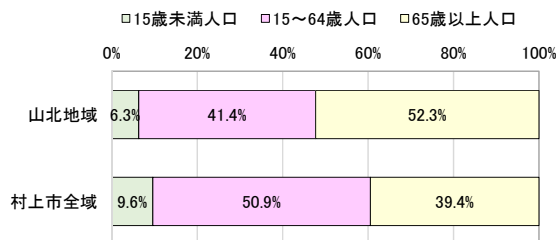
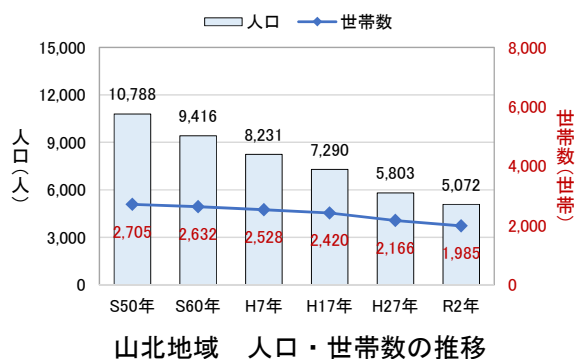


【山北地域の位置】



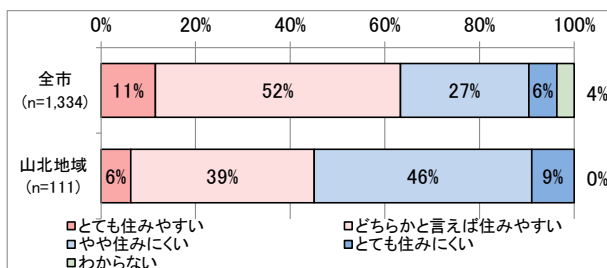
## 【地域の現状】

- ・ 村上市の北部、旧山北町の区域
- ・ 山林地が約 96%、農地が約 3%、宅地が約 1%
- ・ 人口は大きく減少傾向、世帯数も減少傾向
- ・ 65 歳以上高齢者比率が 52.3%と過半を占める

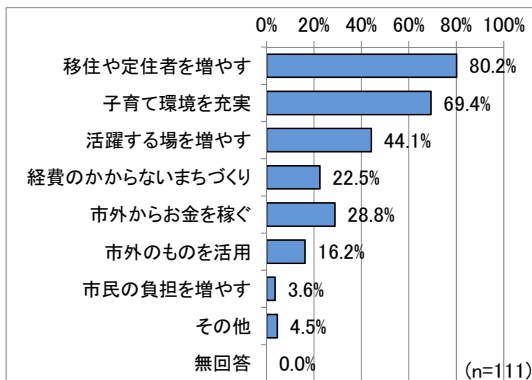


## 【総合計画アンケート結果】

・ 村上市は住みやすいか (山北地域)



・ 村上市の今後のまちづくり



## 山北地域の課題

### 【美しい自然景観・環境の保全と活用】

- ①全国に誇れる「笹川流れ」の景観保全と地域活性化へのさらなる活用
- ②海岸の背後に広がり、総面積の約9割を占める山林地の自然環境・自然景観の保全と有効な活用

### 【古くから伝わる風習・生業の継承と活用】

- ③古くから地域に伝わる生業の継承と地域づくりへの活用
- ④美しい自然に育まれた四季折々の素材・食文化などブランドの確立
- ⑤地域資源を活かしたコミュニティビジネスやイベントなどの持続的発展による地域経済とコミュニティの活性化、交流資源としての有効活用

### 【安全・快適・便利な居住環境の整備】

- ⑥小規模集落における快適な生活環境の確保とコミュニティの維持
- ⑦災害時の代替道路確保など安全安心な道路網整備
- ⑧狭小道路や密集家屋の改善など、災害に強い地域づくり
- ⑨都市サービスが集積する村上市街地又は鶴岡方面への円滑な移動手段の確保

## 山北地域の将来目標

### ■ 「海」と「山」の文化

山北では、笹川流れに代表される「海」と広大な「山」の恵みによって発展し、暮らしの生業の文化が伝承されています。これからも「海と山」の文化を地域づくりに活かしていきます。

#### 1 笹川流れと山・森・水が織りなす美しいまち

地域の大半を占める山林地と、山から出ずる清流、景勝「笹川流れ」の海岸景観と自然循環を大切に保全し、来訪者が地域の自然を満喫できるよう、美しく活力のある地域を目指します。

#### 2 伝統文化などの地域資源を活かし活力につなげるまち

地域内で古くから伝わる灰汁笹まきなどの地域固有の特産品、また四季折々の農林漁産物などの「ごちそう」、各地で定着しつつある活性化イベントなどを今後も活かし、外部との交流の拡大を図るとともに、新たなビジネスとブランドの創出にもつなげ、地域の雇用の場の確保と経済活性化を目指します。

#### 3 中山間地であっても安心・快適に暮らせ持続するまち

沿岸部や山間地の既存集落地における交通安全や越波被害対策などを進めるとともに、特に高齢者の買い物や通院などの利便性を確保し、住民が安全安心に暮らせる地域を目指します。また、若い人たちも住み続けたい魅力ある地域を創造し、活力が持続するまちを目指します。

## 山北地域の整備方針

### 1 「笹川流れと山・森・水が織りなす美しいまち」の方針

#### 【美しい自然景観の保全と活用】

- 国の名勝天然記念物である笹川流れ一帯の海岸については、景勝地としての海岸景観の保全を図り、海水浴やキャンプ、釣りなどを目的とした多くの来訪者を迎え入れるための自然資源として、きれいな海の保全を図ります。
- 地域の約9割を占める山林地については、土砂流出防止や水害の防止、水源涵養、CO<sub>2</sub>の吸収、美しい山北のイメージを保持する景観形成、保健休養などの公益機能を確保するため、多様な生物が生息する環境づくりにも配慮しながら維持保全を図ります。
- 海岸浸食などの著しい箇所の海岸保全事業の実施を目指します。
- 来訪者などのごみ捨てマナーの向上啓発により、山林や河川などのきれいな自然環境や景観の保全を図ります。



### 2 「伝統文化などの地域資源を活かし活力につなげるまち」の方針

#### 【地域固有の生業の保全活用】

- 中山間地や海岸部の棚田景観、大毎集落の吉祥清水、灰汁笹まき、赤カブなど、地域の生活に根付く文化の保全と活用を目指します。
- コド漁や国の伝統工芸品に指定された「羽越しな布」などの地域の技や文化などを体験しながら、交流や滞在ができる施設の整備を目指します。



#### 【地域資源活用による交流の拡大】

- 豊富な「山の幸」や「海の幸」などを活かしたグリーンツーリズムへの展開や、地域の特産品・加工品を販売・飲食する施設の整備などにより、地域の交流を目指します。
- かつて北前船の寄港地であった脇川・寝屋などの集落は、当時を偲ばせる建物を活かしたまちなみの保全とさらなる魅力的な景観の創出を図ります。
- 本市と山形県鶴岡市を結ぶ出羽街道沿いにある北中・小俣などの集落は、街道としてのまちなみの保全とさらなる魅力的な景観の創出を図ります。

- 山熊田集落や小俣集落など地域で行われている散策イベントの継続を図るとともに、他地域からも多くの参加者が集い地元住民と交流を深め、地域の活性化につながるような支援を目指します。
- 合併前から旧山北町が行ってきた「魅力ある集落づくり事業」により各集落が整備した施設やイベント活動を、今後とも他地域との交流拡大に活用し、さらにはコミュニティビジネスへの展開など、活力と持続性ある地域づくりを目指します。



### 3 「中山間地であっても安心・快適に暮らせ持続するまち」の方針

#### 【北部拠点地域の形成】

- 本市の北に位置する山北地域の府屋と勝木の両集落を「北部拠点地域」とし、サービス施設の集積や形成により市民の生活に即した土地利用を進めるとともに、機能別拠点や周辺集落とのネットワーク強化を図ります。

#### 【基幹集落の整備】

- JR府屋駅周辺は、行政・郵便・中学校・体育館などの公共公益施設のほか飲食店や業務施設の立地も多くみられる地域の中心拠点であることから、これらの都市的サービス機能の維持充実と、歩行者空間の整備や駅周辺の公共交通の乗継ぎ機能の向上などを目指します。

#### 【集落内のコミュニティの維持】

- 人口減少と高齢化が進む集落地においては、生活道路や公園広場などの基盤施設の改善と適切な管理により居住環境の維持を図るとともに、コミュニティを維持するため、まつり行事や集落で行う協働作業が効率的に維持・継続されるような仕組みづくりを目指します。
- 集落内の空き家・空き施設などを活用した地域住民の憩いの場や来訪者との交流の場づくり、また都市住民の二地域居住の場としての整備を目指します。



#### 【集落内生活環境の整備】

- 集落に住む交通手段を持たない住民が、容易に府屋周辺の基幹集落や市街地の都市サービスを楽しむことができるよう、村上市地域公共交通計画に基づき鉄道を含めた総合的な公共交通の再編を検討し、地域の移動手段の確保を図ります。

- 山間地の集落については、災害時の迂回路として、既存の林道や農道の利用を検討し、その整備を目指します。
- 日東道の延伸に伴い、整備予定の I C 周辺においては、無秩序な開発による周辺環境の悪化が懸念されます。このため、必要により適切な規制誘導手法の適用を検討します。

### 【広域への連携促進】

- 本地域は他地域と比較しても市の中心部である村上市街地への距離が遠く、相当の所要時間を要することから、緊急時の交通環境を改善する上でも、国道 7 号・345 号の走行性や各集落からのアクセス向上を目指します。
- 本地域は、古くから北に隣接する山形県鶴岡市方面とのつながりも強いことから、国道 7 号や J R 羽越本線などの交通施設の更なる整備充実を推進し、買い物や通勤、観光などにおける利便向上と一層の交流拡大を目指します。



### 【安全な地域づくり】

- 国道 7 号と 345 号の降雨時の規制解消に向けた改良を働きかけ、広域幹線道路としての機能充実を目指します。
- 国道 345 号の新鷓泊トンネルが開通し、通行上の安全性が向上しました。他の危険な区間についても安全性向上のための整備を目指します。
- 地域内の急傾斜地や土砂崩壊危険地区などの危険地区の防災対策の実施を目指します。
- 海岸部の集落では、津波の際に集落住民が安全かつ円滑に避難できるよう、避難場所・避難路の周知とこれらの整備を目指します。



# 山北地域 整備方針図



**【道路走行環境の改善】**  
 ○国道 7 号・345 号の走行性・アクセス性向上  
 ○山形県方面への交通施設の整備充実と一層の交流拡大  
 ○国道 7 号の危険箇所改良と機能充実

**【山間地集落の防災】**  
 ○林道や農道を利用した山間地集落の迂回路確保

**【集落での交流拡大】**  
 ○棚田景観の保全活用  
 ○小俣集落の歴史的景観の保全活用  
 ○散策イベント等交流拡大・活性化

**【集落での交流拡大】**  
 ○山熊田散策イベントなど交流拡大・活性化

**【基幹集落の整備】**  
 ○府屋駅周辺の都市サービス機能の維持充実、利便性向上

**【拠点地域の整備】**  
 ○本市の北に位置する「北部拠点地域」として、サービス施設の集積や形成  
 ○機能別拠点や周辺集落とのネットワーク強化

**【自然環境の保全】**  
 ○山林地の公益機能確保と維持保全  
 ○急傾斜地や土砂崩壊危険地区の防災対策  
 ○ごみ捨てマナーの向上、きれいな自然環境や景観の保全  
 ○日東道 I C 予定地周辺の適切な土地利用誘導

**【集落機能の維持】**  
 ○集落における居住環境の維持、コミュニティ維持のための仕組みづくり  
 ○空き家・空き地を利用した交流の場づくり、二地域居住の場の整備

**【集落での交流拡大】**  
 ○北中集落の歴史的景観の保全活用  
 ○大毎集落吉祥清水の保全活用

**【公共交通の充実】**  
 ○総合的な公共交通の再編による地域の移手段の確保

**【生業・風習の活用】**  
 ○灰汁笹まきなど生活に根付く生業風習の保全活用  
 ○コド漁・羽越しな布などを活用した体験交流支援  
 ○特産品・加工品の販売・飲食施設整備による交流拡大  
 ○「魅力ある集落づくり事業」により整備された資源の活用による交流拡大と活力ある持続的な地域づくり

**【歴史的資源の活用】**  
 ○北前船の寄港地であった脇川・寝屋集落の歴史的景観整備

**【海岸景観の保全】**  
 ○笹川流れ一帯のきれいな海の保全  
 ○浸食の激しい海岸の保全

凡 例	
用途地域	行政区
既存集落	都市計画区域
水面	高速道路
山林地	国道
農用地	その他道路
拠点地域	鉄道
機能別拠点	
基幹集落	
交通拠点	
観光・交流拠点	
産業拠点	